

～ 発達障がい者が自分らしく自立した生活を送れる姿を目指して ～

資料2

<目指すべき姿>

<取組の方向性>

本人・家族

どのライフステージにおいても気づく・相談する

適切な支援を受けながら家庭や地域で学び、育つ

地域の一員として自立と社会参加を実現する

支援者

関係機関の縦横の連携のもと質の高い支援を途切れることなく提供する

地域社会

発達障がいを正しく理解し、よき援助者となる

- ① 分かりやすい相談窓口の設置
- ② 本人・保護者への情報発信

- ③ 健診後のフォロー体制の充実
- ④ 診断待機やグレーゾーンを対象にした支援の在り方の検討
- ⑤ 学校での学習環境の整備

- ⑥ キャリア支援の充実
- ⑦ 農福連携の推進
- ⑧ 事業者への情報発信

- ⑨ 情報連携体制の見直し
- ⑩ 高校・大学への情報発信

- ⑪ 様々な媒体を通じた啓発活動